

45 中郷小学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	ふるさと中郷に学び、中郷を愛する子ども
我が校の目指す子ども像	自他を大切にし なかごうを愛する子



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
<p>「自己有用感を高める」 ～かかわりあう力 ささえあう力 みとめあう力の育成～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かる、学びの楽しさを実感する授業づくり ・望ましい人間関係を構築する、全校や縦割り班での活動の充実 	<p>「自己有用感を高める教育の推進」</p> <p>地域：自己有用感を高めることに焦点を当てた地域活動の展開を推進する。</p> <p>学校：小中連携及び一貫教育の推進を通して、自己有用感を育む。</p> <p>家庭：児童生徒のがんばりを認め、ほめる言葉がけを行い、自己有用感を育む。</p>
成果○と課題■	成果○と課題■
<p>○分かる、学びの楽しさを実感する授業と「自己有用感を高める」ことを研究テーマに置き、校内研究を推進した。これまでの特別活動における取組と併せて、児童生徒の自己有用感の高まりにつながった。</p> <p>■授業や活動から得られた成果を整理し、自己有用感を高めることと関連した授業づくりにつなげていくこと。</p>	<p>○自己有用感を高めることについて、1年目の取組を評価、改善し、さとまる学校を中心とした地域を巻き込んだの活動を展開することができた。小中でのクラス会議を継続し、自己有用感を高める活動につなげた。</p> <p>■自己有用感を高めた具体的な児童生徒の姿を小中で共有し実践を積み重ねるとともに、家庭や地域への啓発を図る。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
<p>昨年度よりも一層、地域の人と出会い、地域の人とかかわることを大切にして各学年で活動を構想し、実践を進めた。児童一人一人が、地域に生きる自分を感じ、地域にあるもの、ことへの意識を高めるとともに、地域の人に支えられていることを実感しながら活動した。</p>	総合	「自分を探そう」（6年）
	クラブ活動	「ようこそ地域の達人」（4、5、6年）
	教科	「ようこそ先輩」（全校）
<p>学校運営協議会の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の大きな支えが地域を愛する子どもを育むことにつながっている。 ・地域になじんだ取組が多くみられたことがとても喜ばしい。 ・中郷区の方との触れ合う活動はとてもいい。 	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
	当てはまらない	

スクールのマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	2人	保護者	1人	住民	8人	その他	2人	合計	13人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	回()	2学期	回()	3学期	回()	合計	回()
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	2回(0)	2学期	1回(0)	3学期	1回()	合計	4回()

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・さとまる学園CS委員会として、学校の支援要請に対してどのように対応していくかを考え取り組んだ。 ・研修や協議を通して、自己有用感についてのとらえをひろげる。 ・さとまる学校コーディネーターが体験活動等の講師の紹介、地域と連携した活動の提案等、教育活動に参画した。 	<p>○実際の子どもの姿を通して、1年間の活動を振り返ることができた。自己有用感を高める児童生徒が、実際に姿や学校評価を通して確認することができた。</p> <p>■学校、家庭、地域の共通テーマ「自己有用感を高める」の実践3年目に向けて、再度、自己有用感について共通認識を深める必要がある。</p>

総括
<p>「自己有用感を高める」ことをテーマとして2年目。さとまる学園CS委員と学校とで連携して取組を進め、一定の成果を感じている。3年目に向けて、「自己有用感」とはどのようなものなのかということ、再度、学校、家庭、地域において理解を深めていくことで、より一層の成果が期待できると考える。さとまる学園CS委員として啓発に向けた方策を協議し、中郷区が一体となり取組を推進していけるよう尽力する。</p>

〈活動写真〉



○地域と連携し、体験活動を行いながら中郷区のよさに触れた。人とのかかわりをひろげながら、地域への愛着を深めた。



○地域の方を講師として、4、5、6年生のクラブ活動を実施した。触れ合いながら技や知識を習得した。



○中郷小学校出身の先輩と活動する機会を設定した。子どもたちはあこがれや夢を大きく膨らませた。